

# ジャパンラグビートップリーグ 2015-2016 2015.12.13 (日)

## ー第5節 長良川球技メドウ

豊田自動織機シャトルズ 対 キヤノンイーグルス

### 試合結果

豊田自動織機	キヤノン	
19	5-0 14-35	35

### 「展開力で勝ったキヤノン」

気温 16 度。この時期にしては暖かい岐阜城のふもと、長良川球技メドウで行われたラグビートップリーグ。今年は岐阜県では初めて球技場を使用しての開催。観客とプレーヤーの距離が近く臨場感があり、試合も非常に盛り上がった。

前半両チームともに攻め込むが、反則や簡単なミスが多く、なかなか得点版に点数が入らない展開に、32分豊田自動織機が敵陣22mラインアウトから⑥バツベいの縦突破からブラインドに展開して、⑭朝見のスピードあふれるランニングでトライ。5-0とした。前半終了。

後半、体格に勝るキヤノンがマイボールのキックオフを競り勝ちボールキープ。BKに大きく展開してゴール前ラックから⑥アイブスの縦攻撃を絡めて⑩橋野が対面を外に振り切りトライ。⑪森谷のゴール成功。5-7。トライをして勢いづいたキヤノンの選手の動きが俄然よくなり、大きく外に展開すると面白いようにボールがつながり、後半6分、11分に連続トライ。(5-21)しかし、ホームゲームの豊田織機が粘る。キヤノン陣のゴール前、⑩ヘガティの好判断で内側に走り込んだ⑪松井にパスが通りトライ。(12-21)

その後一進一退の攻防が続いたが、RWC 南アフリカで活躍したキヤノン⑮ルルーが素晴らしいカウンターアタックから24分にトライ。終了のホーン

ンが鳴っても攻め続けるキヤノン⑮ルルーをフォローした⑲杉永が40分にトライを追加。豊田織機もキヤノンゴール前で力強いモールを組み、反則を誘い、コラプシングによる認定トライを38分に返したが力及ばなかった。最終スコア (19-35)。両チームとも持ち味を充分に出したゲームであった。ディフェンスも激しくアタックも外に大きく展開する両チームに2000人を超えた観衆が沸いたゲームであった。

尚、マン・オブ・ザ・マッチは1トライ5ゴールをあげたキヤノンイーグルス⑩森谷直貴選手が選ばれた。(文責 岐阜県ラグビー協会 木田 敏行)



### 会見レポート

<豊田自動織機シャトルズ>

丹生 雅也監督

前半はお互いに良いプレッシャーの掛け合いであった。ディフェンスはよかったが、ミスも多かった。後半は先週と同じくミスからの失点となり、また、キヤノンのアタックもよかった。

松岡 毅主将

前半は粘り強くコミュニケーションもよくディフェンスができた。後半自分たちのミスから悪い時間が続いた。今後は後半の最初からトライをとれるよう切り替えていきたい。

<キヤノンイーグルス>

永友 洋司監督

結果勝ったことを評価したい。相手プレッシャーによるミスが多く、正しいプレーができていなかった。コーチ陣の反省するべきところである。5週間の遠征試合であり、選手もよくやってくれた。

橋野 皓介主将

こじんまりしたグラウンドで、観客と近く醍醐味がありうれしかった。前半はリードされたあせりからミスが多く出た。後半は自分たちのアタックを目指し目標の4トライが取れた。トップを狙える順位にあり、来週のトヨタ戦に是非勝ちたい。

